

Week of September 7, 2025 - Resurrection　　Small Group Lesson 33

知り合う

子どもの頃、「そんなの無理だ」と思っていたことってありますか？よく分からなかったけれど、後になって「できるんだ」と気づいたことはありますか。

聖句　コリントの信徒への手紙一 15:12-19（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

12 キリストが死者の中から復活した、と宣べ伝えられているのに、あなたがたの中のある者が、死者の復活などない、と言っているのはどういうわけですか。13 死者の復活がなければ、キリストも復活しなかったはずです。14 そして、キリストが復活しなかったのなら、私たちの宣教は無駄であり、あなたがたの信仰も無駄になります。15 それどころか、私たちは神について偽証した者ということになります。なぜなら、本当に死者が復活しないのなら、神が実際には復活させなかったキリストを、復活させたと言って、神に反して証言したことになるからです。16 死者が復活しないのなら、キリストも復活しなかったはずです。17 キリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰は空しく、あなたがたは今もなお罪の中にいることになります。18 そうだとすると、キリストにあって眠りに就いた人々も滅んでしまったわけです。19 この世にあって、キリストに単なる望みをかけているだけなら、私たちは、すべての人の中で最も哀れな者となります。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 12節でパウロは矛盾を指摘しています。キリストの復活を信じているのに、死者の復活を否定するのは、なぜ辻褄が合わないのでしょうか？

2. もしキリストが復活していないとしたら、私たちの信仰や希望はどうなってしまうでしょうか？また、私たちが希望の証人として語ることの信頼性にも、どんな影響があるでしょうか？

3. 17節には「あなたがたは今もなお罪の中にいることになります。」と書かれています。キリストの復活は、私たちの信仰と義認にとって、なぜそれほど重要なのでしょうか？その関係性について、どう理解すればよいでしょうか？

4. 19節でパウロは、「キリストが復活しなかったのなら、私たちは、すべての人の中で最も哀れな者」だと述べています。なぜ、彼はそのような反応が正当だと考えたのでしょうか？

分かち合い

話し合い　その1

学校や職場でグループプロジェクトを任されたと想像してください。あなたは率先してほとんどの作業をこなし、プロジェクトを進めました。ところが最終的に、他のメンバーと同じ評価（成績やボーナス）を受け取ることになります。その瞬間、あなたの正直な、直感的な反応は何でしょうか？不満を感じるのは正当でしょうか？その理由は何ですか？

話し合い　その2

キリストが死からよみがえったことを知ることで、苦しみや喪失、不確かさに直面したときに、どのように勇気や平安を得ることができますか？ そのような困難の中でも、今日「復活の希望」を生きるためにできることは何でしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。